

2020年 10月 4日

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③13時半 ④19時

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②白川 達男兄

賛 美 聖歌500番 & ～聖霊の主よ～

使徒信条

聖 書 ヤコブの手紙1章19～25節

特別賛美 ①②ソウルマティックス / ③④モーセ会

メッセージ 「みことばを実行する人となる」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌723番 ～愛する主の～

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

賛 美 ～わが主、イエスよ～

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

★共に礼拝をお捧げできる恵みを感謝します。神の守りと助けを祈ります！

☆今週の祈り会は、○早天祈祷会：月曜朝6時。○木曜祈祷会：10時半・19時半（大和の祈祷会の映像を用います）。○準備祈祷会：土曜夜8時。

☆来週の日曜第二礼拝後、12時半～「秋の納骨式及び召天者記念礼拝」です。
（その為、第三礼拝[13時半]は行いません。また今月の執事会は25(日)に変更します)

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [10/4ー/11]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書	1テサロニケ 1ー5章	2テサロニケ/ 1テモテ1章	2ー 6章	2テモテ 1ー4章	テトス/ ピレモン	イザヤ 1ー4章	5ー 8章	9ー 12章
チェック	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇 〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇

「みことばを実行する人となる」

～光なる神に向かって進んで行く～

「信者の皆さん。どんな試練に遭う時にも、それを喜んで受けなさい。あなたがたは、信仰の試練が、忍耐を生み出すことを知っているからである。その忍耐を十分働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠点の無い、十分に、成長した人になることができる。」

ヤコブ書1章2～4節〔現代訳〕

ヤコブ書を書いたヤコブはイエス様の実弟と言われています。その他の弟子たちとは違って、イエス様が公生涯に入られる前から一緒にきました。自分がこの世に生まれた時から、目の前にイエス様がおられました。言うなれば、昇天してからイエス様にお会いしたパウロとは正反対のような状況でした。しかし、イエス様が十字架にかかれ、その死から復活されてから直接お会いして、その時からイエス様を神の子救い主であることを受け止めました。復活の主に出会うことこそ、信仰の覚醒となり、その人の人生が根本から変えられる出会いとなります。自分のために十字架にかかれたイエス様を知るだけでは信仰の力をいただくことはできません。復活された生きたイエス様に出会うことを通して初めて、私たちの信仰が生きた信仰となるのだとヤコブの信仰を見る時に感じます。

ヤコブ書の特徴は、「信仰を实践すること」にあります。生きた信仰を实践することを通して初めて信仰があるかないかが分かるということ。いわゆる、口だけの信仰は信仰ではない。もちろん、神の永遠の救いは信じるだけ、告白できなくとも、信じるだけで義とされるが、この世の人たちに対して、また、自分自身に対して、その生き方に対して、救われた者の生き方をしていくためには、信仰が具体的に実践されないと意味がないということです。

1章では、試練を忍耐を持って乗り越える。たゆまずに、神のみ言葉を握って、見つめて、人生を忍びとおす生き方。ヤコブは「御言を実行しなさい」とは言いませんでした。「御言を実行する人になりなさい」と言いました。これはどう違うのでしょうか？ヤコブは、私たちが何をするかではなく、どんな人間になるかということを大切にしました。それは、信仰は一時的なものではなく、人生全体をかけてそうなること。その生き方、方向性を示しているように思えます。

私たちがどのような生き方、人間になりたいのか？私はキリストにあって変えられた。であるなら、どのような方向に向かって進んでいるのかを明確にされていないといけな。欲と罪によって死の方向に進んでいた生き方ではなく、キリストの光によって救われて、光の神に向かって進んでいるという方向です。汚れや怒りなどの悪を捨て去って、光の御言葉に向かって目を注ぎ続ける生き方。そんな生き方を求め続けることによって、私たちの魂（この世での生き方、心、人生）は救われるのだとヤコブは伝えたかったのではないかと感じます。